



▲検診の重要性を語る鈴木文夫氏

問健康介護課健康指導班
(72)
8321

立腺がん検診に「前立腺がん検診」が加わることから、前立腺がんや検診の重要性を知つてもらおうと、お

前立腺がん講演会を開きました。

○町で受けられるP.S.A.検査 P.S.A.検査（血液検査）は各会場で実施しています。詳くらべてください。

「前立腺がん検診とレディスケアについて」という演題で進められた講演の中で鈴木氏は、前立腺がんの早期発見にはP.S.A.検査が有効であり、特にがんのリスクが高まる50歳以上の男性が定期的に検診を受けることの重要性を訴えました。

会場では、健康に関する意識が高い方など、120人以上が熱心に耳を傾けていました。

今年から町のがん検診に「前立腺がん検診」が加わることから、前立腺がんや検診の重要性を知つてもらおうと、お

検診で早期発見を

前立腺がん講演会

初の手植えでドキドキ田植え体験

瑞穂小チャレンジ水田

瑞穂小学校の5年生117人が5月21日、神房の水田で田植えに挑戦しました。この田植えは、農林水産省



の「農地・水・環境保全向上対策」の一環で、瑞穂環境保全会が中心となって実現。今年で4回目を迎えます。

児童を代表して、相場優季くんは「今日の田植えを楽しんできました。初めてなので、ドキドキしています」とあいさつ。また、来賓としてあいさつした瑞穂工区の林

久善委員長は、「この田植えは、農地をきれいにしようという国の事業の一つ。張り切ってやつてほしい。また、植えた後、育つていく姿も眺めほしい」と呼び掛けました。その後、児童はくつを脱ぎ、水田の中へ。「冷たい」「転びそう」とはしゃぎながら、農林振興センター職員や瑞穂環境保全会員の指導のもと、1本1本ていねいに1時間ほどかけて植え込みました。

田植えを終えた児童は、「おじいちゃんが農家をやっているから田植えは見たことがあるけど、やつたのは初めて。難しかつたけど、いいに植えた」と汗をぬぐいながら話してくれました。

田植えを終えた児童は、「おじいちゃんが農家をやっているから田植えは見たことがあるけど、やつたのは初めて。難しかつたけど、いいに植えた」と汗をぬぐいながら話してくれました。

開会にあたり登録団体を代表して、子育て支援ネットワーク協議会の丸田光男氏が「行政に頼らずできる人が、できることを、できる範囲でやっているのが大網白里方式のすばらしさ。これからも行政と協力してやっていけばすばらしい町になると思う」と新たな決意を述べました。

また、来賓としてあいさつ

町民活動の原動力 まちづくりサポートセンターが一周年

した堀内町長は「まちづくりは住民が主役の時代。まちサポートを中心に戸別ニーズがま

ちづくりに反映できるようにしていきたい」と協力したまちづくりを呼び掛けました。式典終了後には、本町在住の歌手、安藤園子さんのミニコンサートや懇親会も開かれ、華やかに一周年を祝いました。



▲第4分団第4班（北今泉5区）の演技



▲第2分団第4班（大竹・山辺1区・旧駅前）の演技

大会結果（敬称略）

ポンプ車操法の部（出場数13班）

分団・班	優勝	準優勝	第3位
指揮者	石田健一郎	内山 貴紀	高山 公男
1番員	大矢 達也	内山 章規	片岡 裕貴
2番員	上代 修平	糸日谷友茂	内山 和哉
3番員	宇津木大樹	齋藤 雄二	金坂 強
4番員	齋藤 和洋	花澤 高広	古内 晃浩
補助員	市東 剛	河野 智範	内山 貴愛

小型ポンプ操法の部（出場数12班）

分団・班	優勝	準優勝	第3位
指揮者	齋藤 和義	垣巣 淳一	錦織 宏光
1番員	片牧 良太	森田 浩司	瀧波 和仁
2番員	長谷川義則	花澤 司	林 克也
3番員	中村 成秀	中村 光延	小笠原 勇
補助員	伊藤 憲太	今関 正彦	峯嶋 秀樹

◇最優秀個人賞

ポンプ車操法の部

要員	氏名（分団・班）
指揮者	内山 貴紀（4-2）
1番員	内山 章規（4-2）
2番員	上代 修平（4-4）
3番員	齋藤 敏之（1-1）
4番員	糸日谷和男（4-3）

◇最優秀個人賞

小型ポンプ操法の部

要員	氏名（分団・班）
指揮者	齋藤 和義（2-4）
1番員	片牧 良太（2-4）
2番員	長谷川義則（2-4）
3番員	中村 成秀（2-4）



▲代表であいさつをする子育て支援ネットワーク協議会の丸田光男氏